

中国で餃子を製造する北京京日東大食品の親会社、東京国際貿易の正山四郎社長は「中国進出二十一年目になるが、成功の秘訣は人づくり」だと言いつける。昨秋、北京に新設した工場に対する思いを語ってもらった。

——近代的なオフィス、衛生的な工場だ。

正山 中国の工場はここで四方所目、これまでのノウハウを結集した設計です。中国企業のオフィスは大抵が薄暗いのですが、この事務所部分は窓を広くとり自然光を取り入れてあるので、蛍光灯を点けなくても明るいのです。建物の外側、内側ともタイル貼りにしたのはメンテナンスし易



中国での成功は「人づくり」



東京国際貿易(株)
代表取締役社長

正山 四郎 氏

(ま・しろう) 今も
さ・しろうが、中国の頻りに
東京本社の中国の製に
業は子息の正山氏に
ま・しろうが、中国の頻りに
業は子息の正山氏に
ま・しろうが、中国の頻りに
業は子息の正山氏に

社員に「教養を持ちなさい」

い工夫です。ペンキによる補修はすぐに剥けてしまい、逆に手間がかりますから。

——工場は逆に薄暗い。

正山 もちろん食品工場ですから、防虫対策として窓なしの設計にしました。工場の敷地を取り巻く樹木は全て葉が落ちない針葉樹です。落葉が少ないのと、虫が付きにくいのが理由です。外観の緑

化には気を使っていますが、虫を呼び込む花は植えていません。それでも建物内に侵入してくる虫はゼロではありません。捕虫器でまえた虫は、専門業者に渡して分析し対応策を検討します。

——工場に入る段階から独自の工夫がある。

正山 手洗いを済ませた後、アルコール消毒をしないと扉は開き

ません。言葉で言うよりも、システマ化することで徹底されます。工場で着用する白衣は、生地はつれがでないように裏側を折り返して縫製しています。スポンのポケットはどうしても必要な場合もあるので、尻部分にひとつだけ残

——社員食堂に食事マナーなどが貼り出している。

正山 社員は無料で利用できま

後には各自がテーブルを拭くよう徹底しており、食堂専属の清掃員は配置していません。食堂で使う野菜は外部でカットしたものを購入しているのと、食べ残し禁止を徹底していることで残滓はほとんど発生しません。

——事務所部分は。

正山 オフィスの机には引き出しがありません。それは書類は全て会社のもの、という考えから。必要書類は共有ファイルに納めています。

——少々気詰まりしそうだが、反発はない。

正山 生産ラインは機械化が進み装置産業化されていますが、品質管理の基本は人です。私は「教養のある人になりなさい」と社員に言っています。普段の生活にたらしめない人は、仕事でも同じ。単に工場内のルールを教えるのではなく、あらゆる問題に対処できる人材教育が大切だと考えます。